

修士課程科目(R02)		授業形態	講義	先端バイオ：選択必修2単位 高度メディカル：自由2単位 グローバル医科学：選択必修2単位
科目名	英語で学ぶ生命科学		ナンバリング コード	先端バイオ：GDMFB1009 高度メディカル：GDMAM1012 グローバル医科学：GDMGM1009
テーマ	英語で生命科学を理解する			
開講時期	1年前期 木曜6限			
授業場所	桜ヶ丘共通教育棟 504 講義室			
担当教員	草野 秀一			
G I O	生命科学及び生命科学研究手法の基礎を英語で学ぶ。			
S B O	1	英語で書かれた参考書を理解することができる。		
	2	英語で書かれた総説を理解することができる。		
	3	英語で書かれた実験書の手順及びその背景を理解し、再現することができる。		
授 業 内 容 (9 0 分 × 1 5 回)				担 当 者
1	英語で書かれた画像加工のガイドラインを読むことで研究倫理について学ぶ(1)			草野 秀一
2	同上(2)			草野 秀一
3	英語で書かれた生命科学に関する教科書を読むことで生命科学英語に慣れる(1)			草野 秀一
4	同上(2)			草野 秀一
5	同上(3)			草野 秀一
6	同上(4)			草野 秀一
7	同上(5)			草野 秀一
8	英語で書かれた実験書を用いて試薬の調製法を学ぶ			草野 秀一
9	英語で書かれた実験書を用いてDNA・RNAの取り扱いを学ぶ(1)			草野 秀一
10	英語で書かれた実験書を用いてDNA・RNAの取り扱いを学ぶ(2)			草野 秀一
11	英語で書かれた実験書を用いてDNA・RNAの取り扱いを学ぶ(3)			草野 秀一
12	英語で書かれた実験書を用いてPCR実験の原理及び操作法を学ぶ(1)			草野 秀一
13	英語で書かれた実験書を用いてPCR実験の原理及び操作法を学ぶ(2)			草野 秀一
14	英語で書かれた実験書を用いてタンパク質の取り扱いを学ぶ(1)			草野 秀一
15	英語で書かれた実験書を用いてタンパク質の取り扱いを学ぶ(2)			草野 秀一
教科書・参考書	特に指定しない			
評価基準 および方法	出席状況(80%)、授業への積極的な参加(20%)による			
アクティブ・ ラーニング	方法：実習 回数：15回中1回			
時間外対応	オフィスアワー			
	メール・HP	skusano@m2.kufm.kagoshima-u.ac.jp		
	授業後			
その他	生命科学の共通語は英語であり、信頼できる実験書のほとんどが英語で書かれています。本講義では、英語で書かれた実験書を自由に活用できるようになることに重			

<p>点をおきたいと考えています。本講義は、博士課程学生と一緒に受講していただきます。尚、講義は英語の参考資料を用い、英語を使って行います。</p>
--